

調査事例紹介：その49



コロナウイルスとは何か／メディアリテラシーを学べる本

豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。
そのうちの一部をご紹介します。

Q. コロナウイルスとは何か。

A. 『岩波生物学辞典』（岩波書店 1996）p490 のコロナウイルスの項目には「ウイルスの一科。（略）ヒトにカゼの症状をおこす。（略）形状が太陽のコロナに似るところから命名された」など記載があります。ほかにも『感染症の事典』（朝倉書店 2004）、『イラストでわかる微生物学超入門』（南山堂）や、国立感染症研究所のウェブサイトにもコロナウイルスについての記述があります。

Q. SNS やインターネットなどのメディアリテラシーを学べる本。フェイクニュースに騙されない、トラブルに巻き込まれないようにする方法について書かれた本はあるか。

A. 豊中市立図書館ウェブサイトの蔵書検索「詳細検索」から、件名の欄に「メディアリテラシー」や「情報倫理」を入れて検索すると、以下のような資料が検索結果にでてきます。

- ・『その情報はどこから？ ネット時代の情報選別力』（筑摩書房 2019）
- ・『ネットで勝つ情報リテラシー あの人はなぜ騙されないのか』（筑摩書房 2019）
- ・『情報モラル教育 知っておきたい子どものネットコミュニケーションとトラブル予防』（金子書房 2018）

【児童書】

- ・『池上彰と考えるフェイクニュースの見破り方 1 「正しい情報」って、なに?』（文溪堂 2019）
- ・『情報モラル学習 迷惑をかけない、被害にあわないネットのルール 第1巻』（理論社 2019）

事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「調べる／相談する」→「レファレンスサービス」→「レファレンス事例をさがす」から、キーワード「コロナウイルス」、「メディアリテラシー」で検索してみてください。